

I-1. 学部、学科、課程、研究科、専攻ごとの名称及び教育研究上の目的  
【学部・学科・研究科・専攻の名称】

工学部	創生工学科	機械分野	機械工学コース 自然エネルギーコース
		電気電子分野	電気電子工学コース
		システム情報分野	情報デザインコース 人間工学コース
		建築・土木分野	建築学コース 土木工学コース
看護学部	看護学科		
大学院	修士課程	情報・生産工学専攻 建設・環境工学専攻	
	博士後期課程	情報・生産工学専攻 建設・環境工学専攻	

### 【教育研究上の目的】

#### 工学部 創生工学科 機械分野

本分野では、まず“ものづくり”の基幹となる「機械工学」の基礎を修得し、さらに“ものづくり”を支えるための最先端の技術とコンピュータを利用した CAD の最新技法を修得することにより、広い工学的な視野と、環境に配慮できる技術と知識を身に付けた人材を育成します。

##### ◎機械工学コース

製図および設計に必要な材料や力学（「機械力学」「材料力学」「流体力学」「熱力学」）の学習を通じて機械工学の基礎知識を身に付けるとともに、実験実習科目の履修により高い応用力を養うことにより、環境共生型マシンの設計など、広範囲の産業分野に柔軟に対応できる人材を育成します。

##### ◎自然エネルギー・環境コース

機械工学の知識を基盤とし、「太陽エネルギー」、「風力エネルギー」、「バイオマスエネルギー」などの自然エネルギーに関する最先端の技術を修得するとともに、広範な知識を応用することにより、国際的エンジニアとして世界のあらゆる地域で活躍できる人材を育成します。

#### 工学部 創生工学科 電気電子分野

##### ◎電気電子コース

本分野では、“ものづくり”に欠かすことのできない「電気工学」「電子工学」及び「通信・情報工学」の基礎を修得するとともに、実験・体験型学習を通して実践的な技術力を総合的に修得することにより、電気、電力、通信・情報などの幅広い分野で活躍できる人材を育成します。

#### 工学部 創生工学科 システム情報分野

本分野では、21世紀の情報化社会に対応でき、分野横断型技術（情報技術、システム技術、デザイン技術、マネジメント技術など）を駆使してアイデアを創生し、情報システム、経営システム、生産システムなどの様々なシステムを実現する能力を身に付けることを目的とします。そして、幅広い知識と視野を持って問題解決に粘り強く取り組む人材を育成します。

##### ◎情報デザインコース

本コースでは、次に挙げるような素養を身につけたシステムエンジニアやシステムインテグレータを育成します。

- ・ 広い視野でシステムへの要求を理解し、目的に応じて知能化を図り、高品質のソフトウェアのデザインと開発を進めることができる。
- ・ CG・VR、ゲーム開発、Webに関わるシステムのアイデアを可視化して的確にデザインできる。
- ・ 未来のロボットシステム、知的生産システムやユビキタスをはじめとする快適な組込みシステムを目的に応じて適切にデザインし、開発できる。

#### ◎人間工学コース

本コースでは、本学の睡眠科学センターで培われてきた経験を基盤とし、人間の情報処理としての脳の機能について理解するとともに、個人および組織集団における人間要素を人間工学に基づく方法論を用いて産業に応用できる人材を育成します。

#### 工学部 創生工学科 建築・土木分野

本分野では、従来から確立されている建築学と土木工学の基礎的知識とデザイン力を修得するとともに、住宅、建築、都市、国土、そして地球環境に至るさまざまな生活空間の安全・安心及び快適性を追求し、それを実現するための広範囲な知識と技術力を身に付けた人材を育成します。

#### ◎建築学コース

建築物の安全性や生活上の安心、快適な環境を実現するために、設計から施工まで総合的な技術力を身に付けた人材を育成します。

#### ◎土木工学コース

地球環境を考えたまちづくりを目指し、安全・安心・快適な生活を送るための社会基盤を整備する技術力を身に付けた人材を育成します。

#### 看護学部 看護学科

わが国の高齢化社会の到来を見据え、人を取り巻く環境の理解に関わる幅広い教養を身に付けさせると共に、人間を総合的にとらえ、看護専門職として高い倫理観と調和の取れた人間関係を築くと共に、あらゆる看護の対象の健康について科学的根拠に基づいた看護実践能力を備えさせ、地域特性から医療ニーズを理解し、地域社会に貢献でき、そして、自らのキャリアデザインを設計し、自己成長のために探究心を持ち、継続的な自学自習のできる人材を育成します。

## (大学院 修士課程)

### 情報・生産工学専攻

本専攻では、専攻分野に関する高度な学識、研究者として必要な学識、専攻分野に関する応用能力、技術者倫理等を養い、高度専門職業人養成を目指す。特にグローバル化の時代にあって、発展途上国援助等も含めた国際的に活躍できる人材の育成を目的としています。

### 建設・環境工学専攻

本専攻では、人間にとって最も望ましい生活環境の創造を求め、従来の建築学・土木工学の領域を研究教育の対象とし、さらに両分野の技術的な融合発展を進めることによって、高度な専門職業人を養成することを目標とします。本専攻には、建築物・構築物の安全性を担う構造工学、各種構造実現の基礎となる材料工学、建築物・上木構造物に対する各種の企画や計画を担う計画学、建築物・構築物を取り巻く環境工学の4専修を設けました。ここでは、専攻分野に関する高度な学識、応用能力、技術者倫理等を養い、高度専門職業人養成を目的としています。

## (大学院 博士後期課程)

### 情報・生産工学専攻

本専攻では、幅広い研究分野に柔軟に適応しかつ、より高度な工学知識と研究能力を持つ研究者および技術者を養成することを目的としています。

### 建設・環境工学専攻

本専攻では、人間にとって最も望ましい生活環境の創造を求め、従来の建築学・都市環境工学の領域を研究・教育の対象とし、さらに両分野の技術的融合発展を目指し、高度な研究・教育を図ることを目的としています。